

鼓童文化財団

2004年度 年次報告書



地元、小木小学校での唄のシリーズ授業風景

はじめに

皆さま、お変わりございませんでしょうか。

2004年という年は、佐渡では大きな変革がありました。十市町村の集合体であった佐渡の島が、大合併によって一つの市、即ち佐渡市が新しく誕生しました。

佐渡市の市長に前・真野町長の高野宏一郎氏が当選され、昨年8月の第17回アース・セレブレーションから大会長をお引き受けいただきました。

新生佐渡市の更なる充実に向かって、私達も地元佐渡での交流と活動に努力を重ねてまいりたいと、昨年に増して太鼓ワークショップや交流授業などに、多数の鼓童メンバーが佐渡島内の学校を訪れました。

2005年度の活動は、昨年度の活動を引き続いて行なうと共に、かねてから鼓童が地元佐渡島内各地の「暮らしの中の芸能」を研究学習してきた成果を込めて、本年7月に予定されて

いる、アメリカ・ロサンゼルスで2年に1度開催される「北米太鼓会議」に初めて、佐渡の芸能である鬼太鼓を紹介します。

また、地場産の間伐材で造る、地産地消の「佐渡の森の恵みで造る家具」～アースファニチャー～は、2002年のフォーラムから試作、展示、セミナーを含めてデザインの改良を重ねています。昨年末の東京公演の折に、文京シビックセンター地下2階でのアースファニチャー展示とスライドショーによるセミナーの開催をはじめ、広くその考え方と製品の告知に努めて来ました。昨年末から、家庭用の一般販売も開始し、その学童用家具の佐渡市内の教育現場～学校への正式導入について、本年度も引き続き努力をしていきたいと考えております。

昨年度に増して活発な財団の活動を予定致しております。今後とも皆様の更なるご支援とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

2005年3月

財団法人 鼓童文化財団 理事長 島崎信

2004年度 実施事業

(2004年1月1日～2004年12月31日)

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思ひます。

北米ワークショップツアー

3/15～3/30までのKASA主催事業、北米西海岸中心の太鼓ワークショップツアーに協力。講師の金子竜太郎は、技術指導に加え、個人と地域のオリジナリティーを引き出すワークショップを展開しました。(実施都市：サクラメント/コルテス/エミリービル/サンノゼ/ロサンゼルス/ポートランド/シアトル)

太鼓体験塾

ECイベントとして5ヶ所を回り、佐渡島内の方に太鼓の楽しさを伝えました。また今回は例年ECワークショップで好評のサンバ篇も取り入れ、のべ130名の参加をいただきました。講師には鼓童メンバーの山口康子、石原泰彦があたり、研修生がアシスタントとして参加しました。

| | | |
|------|-----------------|------|
| 6/19 | 佐和田地区 / 羽茂・小木地区 | サンバ篇 |
| 6/20 | 相川地区 | 太鼓篇 |
| 6/26 | 両津地区 | 太鼓篇 |
| 6/27 | 畑野・新穂地区 | 太鼓篇 |

鼓童塾

佐渡の豊かな自然の中で、鼓童のメンバーを核に様々な人々が集い、学び教え合う宿泊ワークショップを開催。

齊藤栄一の太鼓篇「熱き思ひ」9/19～9/23

佐渡市柿野浦・鼓童文化財団研修所

研修生と佐渡の学生との交流公演

| | | |
|------|---------------|--------------|
| 2/24 | 新潟県立 羽茂高校赤泊分校 | 郷土芸能部学生対象 |
| 11/5 | 佐渡市立 畑野小学校 | 1年～6年 150名対象 |
| 11/9 | 佐渡市立 金井中学校 | 1年～3年 260名対象 |

また、今年も6月と10月に研修所近くの畑野地区松ヶ崎中学校の生徒さんと、太鼓や音楽に留まらない学校活動に参加するなど、交流を継続しています。

地域の小中学生への授業および教育機関との連携

- ・藤本容子 小木小学校に唄の指導 1月、2月、9月



鼓童村稽古場にて、太鼓体験塾



鼓童塾：齊藤栄一の太鼓編



鼓童村にて、修学旅行生対象のワークショップ



「アースファニチャー」紹介、東京・カタログハウスセミナー

- ・宮崎正美 小木幼稚園 太鼓ワークショップ 2月
- ・大井良明 深浦学区「岬太鼓」、「岬組」の指導 通年
- ・山口康子 島内の中高生の初心者にフルートを指導
(下越吹奏楽連盟主催) 6月
- ・石原泰彦 両津小学校 太鼓ワークショップ 6月
- 佐渡教職員対象 太鼓ワークショップ 10月
- 両津公立保育園児対象ワークショップ 10月
- ・齊藤栄一 小木小学校 太鼓ワークショップ 10月
- ・十河伸一 小木幼稚園 太鼓ワークショップ 2月
- 河原田小学校 太鼓ワークショップ 11月
- 小倉小学校 太鼓ワークショップ 11月
- ・青木孝夫 深浦小学校 森林ワークショップ 7月
- ・喜内美和、加藤正佳、林秀樹 「進路の話」 3月
- ・井上佐知子、鬼澤綾子、宮崎正美、林秀樹
「佐渡養護学校訪問」 10月
- ・鼓童研修生「新潟県高校総合文化祭郷土芸能部門県発表会」
に特別出演 8月

その他、ワークショップ

佐渡を訪れた修学旅行・体験学習者対象の太鼓ワークショップ(6、7、10月/指導:大井良明、十河伸一、根岸俊昭) 第四銀行「四交会」/上越市立黒田小学校/北諏訪小学校/上越市小学生親子対象/上越市立飯小学校/上越市立保倉小学校/吉田市立粟津小学校/新潟市立大淵小学校

鼓童村にて、新潟市の日本自然環境専門学校(五十嵐實校長)と研修生の交流会(鼓童村の森の手入れ・生物調査と、太鼓ワークショップ・演奏) 5月

10/10~11に東京・代々木で開催された「第3回東京国際和太鼓コンテスト&カレッジ」(主催:浅野太鼓文化研究所/東京新聞)に協力。藤本吉利が演奏披露とワークショップ講師で参加しました。

講演など

- 藤本容子 新潟大学講座
「越後・佐渡・あるくみるきく」 6月
- 大井良明 京都市講演会「鼓童の公演活動の歩み」 9月
- 島崎信 「アースファニチャー紹介」
東京・カタログハウスセミナーにて 1月
- 東京「木の国ニッポン」展にて 12月

佐渡を応援する講演会シリーズ

鼓童文化財団の評議員でもある永六輔氏が、島民と共に考え佐渡を応援する講演会シリーズ。佐渡の主催者を募り、スケジュール調整や運営に協力し、5月に3ヶ所で開催しました。

- ・畑野地区「さっこりハウス」
- ・羽茂地区「一里塚」
- ・赤泊中学校、羽茂高校赤泊分校

2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践 (研修所)

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべき<新しい伝統>の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

佐渡市柿野浦の旧・中学校校舎で、2年合わせて20名が、日々太鼓や唄や踊り、農作業など向き合い、生活を共にしてきました。2005年1月をもって1年10ヶ月の研修を修了した22期生は坂本雅幸、チャールズ・ケログ、福島直人、福田紳太郎、松井元、吉井盛悟、斎藤菜月、水原彰子の8名。それぞれの新たな目標に向かって巣立ち、そのうち6名が準メンバーとして鼓童に残りました。研修所については、鼓童機関誌12月号に特集を組んでいます。

3. アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々より親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思えます。

鼓童の書籍・ビデオの整理で、約9,500冊についての整理が完了しました。引き続き、新規購入・寄贈書籍への対応をすすめています。

鼓童ホームページ(日本語・英語)は月に1度ほど更新をしています。月平均約5,000件のアクセスがありました。



2004年度研修生

4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション（EC）」の実施

鼓童が地元の市町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

8/20～22に行われた17回目の本芸術祭では、城山コンサートのメインゲストにルーマニアのジプシー・ブラスバンド「ファンファーレ・チョコリアー」を迎え、のべ7000人の方が佐渡市小木町に集いました。詳細は鼓童機関誌10月号に特集しています。

主な出演者

城山コンサート

鼓童、ファンファーレ・チョコリアー（ルーマニア）

ECシアター（ゆきあひ）

小島千絵子、杉沼左千雄、内藤哲郎、木村俊介

ワークショップ等

- ・渡辺亮「サンパで遊ぼう」
 - ・ファンファーレ・チョコリアー「ジプシー・ダンス」
 - ・エド・コリアー「フラ・ワークショップ」
 - ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
 - ・三宅島芸能同志会の皆さん「三宅太鼓」
 - ・牛深市民踊保存会光彩会の皆さん「牛深ハイヤ」
 - ・春日鬼組の皆さん「春日鬼太鼓」
 - ・小木の皆さん「小木おけさ」
 - ・藤本吉利「和太鼓」、小島千絵子「鼓童で踊ろう」、藤本容子「ヴォイス・サークル」、山口幹文「太鼓夜咄」
- 展示
- ・渡辺亮「陰と陽～どちらもだいじ」展
 - ・島崎信ギャラリートーク&「アースファニチャー」展

5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化（特に民族音楽・芸能・工芸）とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

アースファニチャー（佐渡の森の恵みで造る学校家具）

この企画は2002年のECフォーラム「佐渡の森は蘇るか」に端を発し、佐渡の杉の間伐材を素材にした家具の開発を通じて、地域循環型の新しい家具デザインを創り出し、また同時に小中学校などを対象にした新しい循環教育・総合学習での教材とプログラムの提案を行うものです。

EC2004では、昨年の試作品に改良を加えた学校用の学習机と、一般販売を想定した家庭用家具を展示しました。その後、11月に東京・カタログハウスで「里山を守る～間伐材利用の新しい取り組み」というセミナーを行い、それを機に数量限定の家庭用一般販売を開始。今後は、当初からの目標で



EC城山コンサート：ファンファーレ・チョコリアーと鼓童



ECワークショップ：「和太鼓」



ECワークショップ：「牛深ハイヤ」



ECフリッジ：「佐渡吹奏楽団」と鼓童の共演

ある教育現場への正式導入の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

【アースファニチャー】

企画提案：鼓童文化財団

デザイン：島崎信（当財団理事長）

アシスタントデザイン：中野公力（島崎信助手）

テクニカルアドバイス：関原剛（協同組合ウッドワーク顧問）

製品製作：西須殉治（指物職人）

協力団体 南佐渡森林組合 / 深浦小学校 / 協同組合ウッドワーク / NPO法人「木と遊ぶ研究所」

6、伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

鼓童メンバーに対し、舞台に関連する調査を支援しました。

・小島千絵子

島根県、広島県地方の神楽調査（石見神楽、道川神楽）2月

・堀 つばさ

武蔵野美術大学民俗資料展「神と紙の造形」見学調査 10月

・阿部一成、ほか3名

愛媛県新居浜市の太鼓台（神輿）祭り調査 10月

・砂畑好江、ほか2名

長崎県対馬の命婦神楽と阿連地区の盆踊りの調査 11月

2005年1月に鼓童文化財団研修所を修了したチャールズ・ケロッグの、文化庁海外芸術家招聘研修員資格取得、研修履行について支援しました。

2月に佐和田で行われた「佐渡吹奏楽フェスティバル」に協賛しました。

5月に金井能楽堂で行われた、尺八と三弦と箏の「邦楽4人の会」地方特別演奏会に協力しました。

8月12日～21日に開催された「佐渡島海洋自然学校」（主催：NPOしまみらい振興機構）を後援しました。残念ながらこれまでの講師のジャック・モイヤー博士が2004年1月に逝去されましたが、海野義明氏が後を引き継ぎ、環境関係の指導者を目指す大人や子供たちを集め、海の生物に親しむスノーケリングや、朱鷺が最後に捕獲された里山で無農薬農業に取り組み始めた地元の方々と交流するなどの活動を行いました。

10月に太鼓グループへの指導で今夏から交流を始めているロシア・サハ共和国の音楽家、ハトラエフ夫妻の佐渡訪問を受け入れました。研修所と鼓童村において、地元の方々もお招きし、サハの民俗音楽を披露していただく機会を作り、また夫妻へは佐渡の自然と文化を紹介するという交流を行いました。



鼓童村にて。サハ共和国の音楽、ミニ・コンサート



「アースファニチャー」各地で試作品展示

7、年次報告書および関連図書の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。

8、鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見出し、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

鼓童の会会員の方々をはじめ各関係者に機関誌（月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回）お送りしています。

9、その他

2004年3月佐渡市誕生に伴い、前・小木町長中川忠夫氏から、佐渡市長高野宏一郎氏に理事職を引き継ぎ、承認されました。また12月の財団理事会において評議員のトーマス・エルドス氏、本間寅雄氏の退任と、五十嵐實氏、関原剛氏、中川忠夫氏、マーク・ロス氏の新任が承認されました。

2004年度も「三宅島募金」を機関誌上で呼びかけ、いただいた募金を「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」に寄付させていただきました。全島避難から4年半を経て、いよいよ帰島が始まった2005年度も引き続き、復興の道りを見守りながら支援を呼びかけていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2005年1月、1997年の財団設立時より監事をお願いしていた、日下敬舜氏が逝去されました。元羽茂町長の日下氏には、永年に渡り佐渡での基盤づくりにご教示をいただいております。生前のご厚誼を深謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ECフリンジ：三宅島芸能同志会の太鼓演奏

2004年度 決算

収支計算書 2004年1月1日から12月31日まで

(単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|----------------------------|------------------|---------------------------|
| 基本財産運用収入 | 1,334,864 | 事業費 | アース・セレブレーション事業費 3,261,720 |
| 入会金収入 | 283,000 | | 太鼓体験塾事業費 510,000 |
| 会費収入 | 6,824,000 | | 鼓童塾事業費 939,803 |
| 法人会費収入 | 0 | | 研修所事業費 15,241,714 |
| 事業収入 | アース・セレブレーション事業収入 3,150,000 | | 鼓童の会事業費 2,567,726 |
| | 太鼓体験塾収入 600,000 | | その他の事業費 4,457,031 |
| | 鼓童塾収入 1,210,000 | 管理費 | 給与 2,066,664 |
| | 研修所研修費収入 14,315,000 | | 会議費 359,513 |
| | その他の事業収入 2,235,845 | | その他の管理費 2,055,403 |
| 補助金等収入 | 2,459,000 | 固定資産取得支出 | 0 |
| 寄付金収入 | 1,237,000 | 予備費 | 0 |
| 雑収入 | 652,141 | | |
| 当期収入合計 (A) | 34,300,850 | 当期支出合計 (C) | 31,459,574 |
| 前期繰越収支差額 | 2,618,963 | 当期収支差額 (A)-(C) | 2,841,276 |
| 収入合計 (B) | 36,919,813 | 次期繰越収支差額 (B)-(C) | 5,460,239 |

貸借対照表 2004年12月31日現在

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債および正味財産の部 | |
|------|-----------------------|-------------|-----------------------|
| 流動資産 | 現金 116,457 | 流動負債 | 未払金 517,279 |
| | 預金 5,958,558 | | 預り金 13,332 |
| | 未収金 456,000 | | |
| | 仮払金 543,326 | 正味財産 | 111,519,506 |
| | その他 3,736,448 | | (うち基本金 100,211,931) |
| 固定資産 | 基本財産 100,211,931 | | (当期正味財産増加額 2,496,412) |
| | 固定資産(什器備品・車両) 867,289 | | |
| 繰越資産 | 製品開発費 160,108 | | |
| 資産合計 | 112,050,117 | 負債および正味財産合計 | 112,050,117 |

2005年度 事業計画

1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催
 - (1) 太鼓体験塾
 - (2) 鼓童塾 齊藤栄一の太鼓ワークショップ ... 1回
 - (3) 研修生と佐渡の中学生との交流公演 ... 3回
 - (4) 地域の学校への出前授業および交流
 - (5) 北米ワークショップツアー（藤本吉利・宮崎正美）
 - (6) 北米太鼓会議参加（春日鬼組派遣）
 - (7) KASA/MIXワークショップツアー受入
 - (8) 小学校修学旅行体験ワークショップ受入
 - (9) 永六輔佐渡島内講演会
 - (10) 森林ワークショップ
2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）
 - (1) 総合課程：芸能の基本を学ぶ
4月～翌3月 約10名
 - (2) 専門課程：舞台芸術関係の専門分野を学ぶ
太鼓・笛・唄・踊り・三味線などの稽古
4月～翌1月 約10名
3. アクション・ライブラリーの運営
 - (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
 - (2) 図書・映像資料の整理
 - (3) 図書管理システムの運用
 - (4) インターネット・ホームページの運営
 - (5) 研修所講義録の編纂
4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催
開催時期を8月とし、小木地区を中心にコンサート、ワークショップ、講演やフリンジなどの恒例の事業を行うほか、佐渡の自然・経済環境を考えるセミナーの開催をする。
5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集
 - (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
 - (2) 鬼太鼓調査研究
 - (3) アースファニチャー事業
 - (4) 佐渡の伝統工芸技能者調査
6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援
 - (1) 伝統文化研究者の支援（鼓童舞台演目の出稽古等）
 - (2) 伝統技術継承者の支援（文弥節記録等）
7. 年次報告書および関連図書の刊行
 - (1) 年次報告書の発行
 - (2) 鼓童叢書第2号刊行準備
8. 鼓童の会の運営
月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集
9. その他
広報活動、ファンドレイジング活動、三宅島募金活動

財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員（2005年4月1日現在、50音順）

| | | |
|------|-------------------|----------------------------|
| 理事長 | 島崎 信 | 武蔵野美術大学名誉教授 |
| 副理事長 | 山口幹文 | 鼓童演出顧問 |
| 常務理事 | 青木孝夫 | 鼓童代表 |
| 理事 | 浅野昭利 | 財団法人浅野太鼓文化研究所理事長 |
| | 高野宏一郎 | 佐渡市長 |
| | 森 千二 | 音楽プロデューサー |
| 監事 | 荒井久夫 | 税理士 |
| 評議員 | 五十嵐實 | 税理士、日本自然環境専門学校長 |
| | 伊藤文吉 | 財団法人北方文化博物館館長 |
| | 永 六輔 | 作家 |
| | ジョージ・健・高知 | アジア文化会議日本事務局代表 |
| | 佐々木 愛 | 劇団文化座代表、女優 |
| | 関原 剛 | 協同組合ウッドワーク顧問 |
| | 等々力好泰 | 新潟トヨタ自動車株式会社社長 |
| | 富田 勲 | 作曲家 |
| | 中川忠夫 | 元小木町長 |
| | 姫田忠義 | 民族文化映像研究所所長 |
| | クリストファー・遥盟・プレイズデル | 尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー |
| | ロビン・ペリントン | 元駐日アメリカ大使館 文化参事官 |
| | 本間雅彦 | 元佐渡・畑野町史編纂委員長 |
| | マーク・ロス | ダイオラマ文化センター ディレクター |
| | 武者利光 | 東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長 |

2004年度 寄付者一覧

2004年1月1日から12月31日までに寄付をくださった方は以下の通りです。(敬称略。1口1,000円)

- 50口 (有) オフセンター、(株) 浅野太鼓楽器店、ナカガワ塗装店
- 30口 石黒八重
- 20口 荒井久夫、石塚邦博、蘭情
- 10口 東幸太郎、井口益男、石垣清美、石塚久、泉田誠一、伊藤富貴子、伊藤文吉、小倉陸美、川上テル子、鬼澤信夫、北見治、幸田国際特許事務所、郷戸和芳、佐藤惇、篠田廣、杉浦孝昭、筒井祖晋、谷口道子、田村通浩、春本博章、藤井製桶所、山下典子、吉井信幸

年次報告書への名前掲載を希望しない方の寄付金額、および10口以下の方の寄付金額の小計 767,000円
上記の寄付総合計 1,237,000円

たくさんのご支援をありがとうございました。



アース・セレブレーション：鼓童村の森公開

財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご支援により活動を進めております。

[寄付]

寄付は1口1,000円単位で随時受け付け、毎年4月に発行する年次報告書をお送りします。年に10口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690 - 9 - 25829 (財) 鼓童文化財団」宛にお願いします。鼓童の会にすでにお入りの方は会員番号を、また年次報告書に名前と金額の掲載を希望しない場合は、その旨を通信欄にご記入下さい。

団体名と個人名を併記されている場合は個人名での掲載とさせていただきます。また、財団への寄付は鼓童の会の会費とは異なりますのでご確認ください。

あわせて「三宅島募金」にもご協力いただければ幸いです。「00580 - 5 - 68315 (財) 鼓童文化財団 三宅島募金」宛にお願いします。金額はおいくらでも結構です。また「通信欄」に三宅島民の方々にあてたメッセージをぜひお寄せください。

[後援会と、法人会員制度]

鼓童というグループは、公演活動を運営する(株)北前船と、楽器などの開発販売や著作権管理を行う(有)音大工、そして(財)鼓童文化財団という3つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

鼓童文化財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられております。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の3種類がありますが、財団活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(年会費1万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

また、法人会員制度も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2004年度年次報告書 2005年4月10日発行
発行責任者...島崎信、編集...菅野敦司、千田倫子
写真...吉田励、ジョニ・ウェルズ、宮川舞子、田中文太郎、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：

〒952-0611 新潟県佐渡市金田新田148-1 鼓童村

TEL. 0259-81-4100 FAX. 0259-86-3631

E-mail. zaidan@kodo.or.jp

http://www.kodo.or.jp